

平成16年9月16日
北海道電力株式会社

泊発電所2号機充てんポンプの停止について

泊発電所2号機(加圧水型軽水炉、定格電気出力57万9千kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、本日、午前1時30分「充てんポンプトリップ」の警報が発信し、B - 充てんポンプ^{*1}が自動的に停止しました。

このため、直ちに予備機であるC - 充てんポンプを手動により起動しました。

B - 充てんポンプが停止した原因については現在調査中です。

泊発電所2号機の運転に支障はなく、現在、定格熱出力一定運転中です。

また、今回の事象による外部への放射能の影響はありません。

本件については、泊発電所に関する通報連絡及び公表基準の区分III^{*2}に該当することから、北海道及び地元4カ町村に連絡済です。

*1. 充てんポンプ

- ・一次冷却系統から抽出した一次冷却水を浄化した後、再び一次冷却系統に戻すためのポンプ。
- ・3台設置しており通常1台運転で残りは予備としている。

*2. 泊発電所に関する通報連絡及び公表基準の区分 III

- 「 原子炉の運転に関連する主要な警報が発信したとき」

発電所系統図

